

平成26年度 《学校経営計画》

名張市立北中学校

校長 和南 義一

1 学校教育目標

夢をもち、心豊かで、たくましい生徒の育成

—感動・感謝・そして成長—

2 めざす学校像、幼児・児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像

○学校像	・一人ひとりを大切にする学校 ・安全で安心して学べる学校 ・活力あふれる学校 ・地域に開かれた信頼ある学校
○生徒像	・目標をもち、自ら学ぶ生徒 ・自ら考え、自ら行動する生徒 ・人とつながり、学び合う生徒 ・心身ともに健康な生徒
○教職員像	・愛情をもち、生徒とともに実践する教師 ・創意工夫をし、生徒の確かな学力をはぐくむ教師 ・生徒・保護者・地域に信頼される教師
○保護者・地域像	・つながり合い、学び合う保護者 ・子どもを見守り育てる地域

3 学校の現状

生徒の学校生活の様子は全体的には落ち着きがあり、挨拶ができる生徒も多い。学習・部活動にも熱心に取り組んでおり、H25年度の生徒アンケート結果からは、「学校生活が楽しい」と感じている生徒が90%超あり、また、学校生活の大半を占める授業については「ほとんど理解できている」と回答した生徒が8割であるが、まだまだ学力向上の取組が必要である。「学校に力を入れてほしいこと」の結果からは、保護者も生徒も「わかりやすい授業」を一番にあげており、より一層の授業改善に力を入れ、生徒の積極的に学ぶ力の醸成が求められる。一方で、不登校等、心に悩みを持った生徒、様々な課題のある生徒も増える傾向にあり、未然防止、早期発見・対応が重要である。また、「あなたは自分の将来に夢や希望をもって学校生活を送っていますか」という項では、ややそう思うと答えた生徒も含め約75%である。反面、自己肯定感の弱さも見られ、自尊感情の醸成と自らの目標を実現するためのキャリア教育の推進が必要である。さらには、生徒自らが積極的に進めていく自治活動を活発化させ、地域との連携を図りながら学校教育を進めていく必要がある。

本年度の改善方策

学び合い学習を中心に授業の工夫・改善と教育相談の充実に取り組む。また、学校行事・学級活動等の活性化を通して、豊かな人間関係と居場所づくりをすすめ、集団の質を高める。最終的には自分たちの活動が感動を生み、周りの人に感謝し、そして自己実現を図る取り組みを進めていきたい。また、9年間を見通した教育という視点から小中連携を図り、魅力ある学校づくりをめざしたい。

その基盤となるのは、活力のある教職員集団であり、そのためには、過重労働対策を推進し、教職員の健康管理に配慮する。

以上を踏まえながら、キャリア教育の推進をはかり、「夢・未来」をはぐくむことをめざして、以下の4点を大切にしたい。

- 1, 「やる気」を引き出す授業づくりを通して、確かな学力・健康・体力を育む。(学力)
- 2, 学級活動、学年・学校行事等の創意工夫を通して、仲間とつながり、高め合おうとする力を育む。(人権)
- 3, 進路相談、教育相談の充実を通して、自らの良さを生かし、自らの目標(夢・未来)を実現する力を育む。(キャリア)
- 4, 地域とともに歩む学校として、小中連携の充実、地域人材等の活用を図る。(地域)

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		24	25	26	27	28
1	確かな学力の定着を図る。(学力)	○	○	○	○	○
2	仲間とつながり、高め合おうとする力を育む。(人権)	○	○	○	○	○
3	自らの目標(夢・未来)を実現する力を育む。(キャリア)	○	○	○	○	○
4	小中連携の充実、地域人材等の活用を図る。(地域)	○	○	○	○	

5 平成26年度の重点目標

重点的な取組事項－1 確かな学力の定着を図る。(学力)	
A 今年度の成果目標	
「あなたは、授業内容がほとんど理解できていますか」の項目を85%以上にする。	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	「学び合い学習」を中心とした授業研究を推進し、研究授業、反省、改善の取組を継続する。
②	家庭学習の充実に向け、保護者への啓発及び具体的な取組をすすめる。
③	「聴き合い・学び合い」の研究を推進し、学習規律の徹底、互いの考えが尊重される雰囲気づくり、学びに参加した成就感・満足感を感じることによって、子どもの主体的な学びを図る。

重点的な取組事項－2 仲間とつながり、高め合おうとする力を育む。(人権)	
A 今年度の成果目標	
「あなたは、学校生活が楽しいですか」の項目を90%以上にする。	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	人との「出会い」から自分の生活をふり返り、発信する力を培う。
②	Q－U調査や教育相談をより有効に取り組むため、研修会の実施や課題や改善策の検討を定期的に行う。
③	生徒会の「5つの目標」の達成意識を5項目とも85%以上にするための取組を行う。

重点的な取組事項－3 自らの目標(夢・未来)を実現する力を育む。(キャリア)	
A 今年度の成果目標	
「あなたは、自分の将来に夢や希望を持って学校生活を送っていますか」の項目を85%以上にする。	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	地域と連携したボランティア活動等の工夫をすることにより、地域や社会に参画する意識を高める。
②	面接や面談の機会を工夫し、将来、自己実現が可能となるように、自己表現力を伸ばす取組をすすめる。
③	職場体験学習及び職業や働くことについての調べや聞き取りの学習等、人と職業との出会いを工夫する。

重点的な取組事項－4 小中連携の充実、地域人材の活用を図る。(地域)	
A 今年度の成果目標	
地域と共に歩む学校として、小中連携を推進するとともに、地域や保護者の方への学校に対する理解を深める。	
B 目標実現に向けた取組	
具体的な方策	
①	学校だよりの発行やHP、オープンスクールの工夫など、積極的な学校の情報発信を行う。
②	授業や学習環境の充実のため、学習支援者の導入をすすめる。
③	校区小学校との連携推進のため、校区担当部会を立ち上げ、具体的な取組を進める。